

# 豊寿園

FRUITFUL TREE

# 豊かな樹

Summer2019

Vol. 43

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING HOME  
HOJJYUEN

TOPICS

MORE CROSS

HOJJYUEN×FAMILY

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOJJYUEN'S ALBUM

SPECIAL SECTION



トピックス  
T O P I C S

## 令和元年 全国赤十字大会を開催しました！

新たに日本赤十字社名誉総裁となられた皇后陛下の行啓を仰ぎ、5月22日、令和元年全国赤十字大会を東京・渋谷区の明治神宮会館で開催しました。皇后陛下は、上皇后陛下の日本赤十字社名誉総裁ご退任により、5月1日付で名誉総裁にご就任になりました。



大塚 義治 新社長

## 日本赤十字社の新社長が就任しました！

日本赤十字社は、7月1日付けで大塚 義治（おおつか よしはる）前副社長が新たに社長に就任いたしました。近衛 忠輝（このえ ただてる）前社長は7月1日付けで名誉社長に就任し、今後も新社長をサポートしてまいります。新体制においては、激甚化する自然災害をはじめとした様々な人道問題に取り組み、変化する社会情勢対し的確な支援を実現してまいります。



## 令和元年度 第1期の入所検討会議を開催しました！

5月22日に、6月からの半年間、豊寿園へ入所のお申し込みをいただいた方々の待機順位を決定する会議を、外部第三者委員を交え開催しました。今回お申し込みをいただいたのは53名でした。過去一番多くお待ちいただいていた8年前と比べお申込み総数は1/3に減っており、以前よりも入所までお待ちいただく期間も短くなってきています。入所をお考えの方はお気軽にご相談ください。



**5月26日**  
**門司みなと祭り 祝賀パレードに参加しました！**

北九州市門司区の恒例イベント、門司みなと祭りの祝賀パレードに今年も参加させていただきました。当日は、各校区婦人会の皆さんたちと一緒に歩いて赤十字をPRしました。沿道からはたくさんの温かい声援をいただきました。



**5月21日**  
**地域の清掃活動を行いました！**

毎年恒例の門司港レトロ地区での清掃活動を予定していましたが、当日はあいにくの荒天のため中止し、豊寿園周辺の清掃活動を行いました。短い時間でありましたが沢山のごみを集めることが出来ました。



**松ヶ江北小学校との**  
**交流会を行いました！**

毎年交流を行っています北九州市立松ヶ江北小学校6年生の生徒さんと今年度の交流を始めました。小学校への出前授業では認知症の方との接し方を学んだり、豊寿園では見学や利用者様とのレクレーションを行いました。

## あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回は、奥水介護課長による大西千賀子様へのインタビューをお届けします。義母様の在宅での介護から豊寿園への入所、そして園内でのお看とりまでの経過、思いをお話いただきました。



今回インタビューに応じてくださった 大西 千賀子様

「丁度、私自身が仕事と子育ての時期で義母のことをよく見れていなかったと思います。」

皆さんからも本当の親子の様と云われますが、義母は一人息子の嫁としてではなく、実の娘のようにかわいがってくれました。結婚して1年同居した後、夫の転勤で茅ヶ崎に引っ越しをしたときには、妊娠した私の代わりにおせちを作りに来てくれたり、いつでも電話ができるようにと子機付きの電話機を買ってくれました。実家には元氣な甥っ子がいたのもあって、出産も義母の下でしました。血は繋がってなくても、実の親とは二十数年、義母とはそれよりももつと長い付き合いです。夫が単身赴任の時も、義母がいつも助けてくれていました。

「それではダメだと気付いて義母を受け入れるように変えました。」

義母は洋服や着付けをしていたんですが、着付けの約束を忘れることが増えていきました。家でも探し物をしていたり、同じ物を何度も買ってくることがありました。家でしていた着付けの練習もしなくなり、「なんにもやる気がなくなつた」と言っていてテレビを見て過ごすことが増えていきました。丁度、私自身が仕事と子育ての時期で、今思うと義母の事をよく見れていなかったと思います。

義母を病院に連れて行って検査してもらおうと認知症と診断されました。最初は何とか分かつてもらおうと何度も言い聞かせていました。それではダメだと気付いて義母を受け入れるように変えました。義母のプライドを傷つけてはいけないと思つたんです。でも人に頼ることをせず自分ひとりで介護ができると思っていました。友人の看護師や介護士に相談すると、「もう少し社会に頼つたら？」と言ってくれたのがきっかけで介護保険を申請して、デイサービスやショートステイを利用するようになりました。義母はサービスを利用することを嫌がらなかったため助かりました。家でお風呂に入れると寒がつて大変でしたが、他所で入浴してもらえるのは本当に助かりました。義母が認知症と診断されてから約10年自宅で一緒に過ごしてきましたが、

申込みをしていた豊寿園さんから「入所の順番が来た」と連絡をもらいました。連絡を受けた時は、正直どうしようか迷いました。その頃夜中に義母が起きてくるのが心配でキツチンに布団を敷いて寝る生活で、寝不足から疲れも溜まっている頃でした。娘から「お母さんが元氣じゃないとダメだよ」と言われ、義母を支える私が元氣でないといけないと決意できたので入所してもらおうことにしました。

「いつまでも生きてほしいけれど苦痛を味あわせたくない」という思いがありました。」

入所してからは仕事帰りに面会に行つて食事を介助していました。職員さんが限られた時間と少ない人数でたくさんの方を介護しているのを見て、「食事介助は私が頑張ろう」と思つて頑張っていました。義母は段々と食事を摂ることが難しくなつていき、無理に食べさせて誤嚥したり、介助するのに微妙なさじ加減が難しくなつてきて止めました。職員さんが介助してくれても、義母は段々と食事を摂ることが難しくなつていきました。ある日、数日食事が満足にとれていないということで、病院に点滴に行くのに付いて行きました。その病院の先生から、「食事を食べられないのは老衰です。」と言われました。

HOUJYUEN × Family



それを聞いた時はショックでした。食べれない状態でも、義母の命はずっと続くんじゃないかと思っていたけれど、命はいつか帰らなければならぬ。でも、いつまでも生きてほしい、だけど義母に苦痛は味合わせたくない、といういろいろな思いが駆け巡りました。看護師の友人に相談すると、「身体が受け付けないのに、点滴で水分を入れようとするのはお母さんはきついと思うよ」とアドバイスをもらいました。色々な考えはあるけれど、もし自分が亡くなる時どうして欲しいのか、と考えた時、自然な形のままで終わるのが寿命なんじゃないかと思いました。いろいろな処置に頼るのは生きるのではなく、生かされてるだけだと。けれど嫁の立場の私が決められることではないので主人にも相談しました。主人ははじめ、「食べられなくなったのなら、食べられるように治療するべき」と言って胃瘻を造ってもらっても良いんじゃないか、という考えでした。話し合った結果、私が友人から聞いた、「本人が苦しいだけだ」という話を説明すると納得してくれて、病院ではなく、豊寿園さんで最期まで看てもらおうと決めました。

— 第三の家族に囲まれて、義母は安心していたと思います。病院でなくて良かったと思っています。 —

結局、義母は看取りの対応を始めてもらってから25日目に旅立っていきました。面会中は、何も言わない義母が、外の風に当たったり、花を感じたいだろうなと思つて、車いすで散歩に連れてつたり、自分で動けない分マッサージをすると嬉しいだろうな、我慢しているのはきついだろうな、いつも義母の気持ちを考えてました。亡くなる二日前から義母の部屋に泊まらせてもらっていました。一晩目が眠れなかったのでも亡くなる前日には22時には休んで、翌日7時に主人と交代する予定でした。4時に目が覚めてしまったので、義母の口をジューズで湿らせたんです。そのあと目を離したときに、義母が深い息をしたようだったので顔をみると、呼吸が止まっていました。声をかけて目を開けようと思いました、その目に一滴の涙が流れていました。約1ヶ月の間、義母と家族の為に部屋を用意してもらつて、心の準備期間がとれたことがとてもありがたかったと感じました。病院で老衰と言われた時は悲しくて泣いてしまいました。義母も私達家族もお別れの準備をする貴重な時間だったと思います。だから、亡くなった後も平常心でいられましたし、家族全員が前に進むことができました。もし病院だったら、今まで見た事がな

い人が周りにいる。豊寿園さんでは、次から次に職員さんが義母の所に来ては、手を摩つたり声をかけてくれたりと本当に感謝しかありません。豊寿園の職員さんは三番目の家族と思っています。生まれてからの家族、お嫁に行つてからの家族、そして豊寿園で見てくださった第三の家族に囲まれて、義母は安心していたと思います。病院での最期ではなくて本当に良かったと思つています。

介護を始めたばかりの頃、認知症を受け入れられなくて、しつかりさせようと言いつつ聞かせてしまつてしまつたが認知症の人を変えるのではなく、介護する人が変わること、気持ちが楽になると思ひました。今、介護の中にいる人は大変でしょうが、子供たちの教育にもなります。主人の母を大事にすることは主人への愛の証でもあります。義母はわかつてないようで、本当は分かっていることが沢山あったと思います。焦る気持ちは義母に伝わっていましたし、ゆつたりとした気持ちで対面すると義母も落ち着いていました。まさに、鏡だと思いました。義母の介護で沢山のことを学ぶことができました。後悔は一切ありません。やり遂げたという感じ。最期の二晩泊まった時、本当にすごい仕事だと思いました。沢山の人を少ない人数で介護して、使命感や責任感だけではなく、尊い仕事を選ばれた豊寿園の職員さんにはすごいと思いました。自信を持つてお一人おひとりを見届けて頂きたいと思ひます。

## 地域ぶらり情報

### 素敵がみつかる



門司港駅より徒歩5分程にある、栄町銀天街の一角に、70年続いている『よしざき』があります。10年前に木を基調としたお店にリニューアルされました。店長さんがこのお店に嫁いだ時は化粧品店でしたが、地域の方は高齢の方が多く、ここで色々揃えられるようにと皆さんの要望を聞いていくうちに、20年前頃より洋服やバッグ、雑貨等を取り扱うようになりました。今では月1回、お嫁さんと仕入れに出かけ、バッグは一点物から手頃な物まで幅広く揃えています。可愛い猫の綿スカーフや持ち運びしやすいサンバイザー、保冷つきエコバッグは、この夏、活躍すると思います。特に保冷つきエコバッグは、大きさは50cmですが、折りたたむと15cmとコンパクトになりおススメです。化粧品は『オパール化粧品』のみを取り扱っていて、発売以来93年愛されているロングセラー化粧品です。通販されておらず、取り扱っているのは福岡県内でも数店、門司ではここだけだそうです。『よしざき』に行き、お気に入りの一品を見つけてみては、いかがですか？

#### LADIES' SHOP よしざき

北九州市門司区栄町1-13  
TEL 093-321-2423  
定休日 日曜日  
OPEN 9:30~17:00



## あとがき

元号が令和に変わり、初めての豊かな樹を発行できました。平成は平和の中にも数多くの災害に見舞われた年でした。昨年の7月には九州地方を襲った大雨により、豊寿園のある北九州市門司区でも土砂災害によって大きな被害が発生しました。令和が大過のない日々になることを願いつつ、万一の災害にも備えていきたいと思います。

豊寿園では、4月から荒巻園長が着任し、様々な見直しが進んでいます。中でも、職員の働き方については各部署で業務改善に努めることで、利用者様へのサービスの質を落とすことなく、より効率的に職員が業務に臨み、利用者様、職員共に心地よい施設となるよう日々、見直しが行われています。

そういった取り組みもこの豊かな樹で紹介していきます。今後の豊寿園に是非、ご期待ください。

豊寿園広報担当 森 英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、磯崎伸子さん（生活相談係主任）です。平成15年に入職し、平成23年から生活相談員として主にショートステイやボランティアさんを担当しています。渋々の了承でしたが、大雨が心配される中、屋外での撮影に協力してくれました。

# 介 護 一 口 メ モ

## C A R E M E M O

今回のテーマは「防災情報」についてです。昨年7月の大雨では豊寿園のある北九州市内でも甚大な被害が発生しました。情報にあわせた正しい避難行動を理解しましょう。

### 防災情報はいろいろあるけど、いつ避難すればいいのかご存知ですか？

水害や土砂災害などについて、市長村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報が以下のとおり5段階に整理されました。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報	氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4	速やかに避難先へ避難しましょう。 <b>全員避難を！</b>	避難勧告 避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒 情報 等
警戒レベル3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、いつでも避難できるように準備を整えましょう。 <b>高齢者等は避難を始めましょう！</b>	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報 洪水警報 等
警戒レベル2	避難に備え、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 等	
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意報	

### 避難に関する情報を収集しましょう！

気象情報や、市町村や国・都道府県等が出す災害情報は常日頃からテレビやラジオ等で意識的に収集しましょう。情報は、北九州市のホームページやメール等でも発信されています。



ホームページ

「北九州市」「防災情報北九州」で検索してください。



防災メール

「もらって安心災害情報配信サービス」  
「防災メール・まもるくん」

日頃から災害に関心を持ち、避難場所や連絡先の把握、必要物品の準備等、万が一への備えをしておきましょう。

## バスハイク



5月 ご家族と門司港レトロへバスハイクに出かけました。  
天気にも恵まれ素敵な写真が沢山撮れました！

## ブンネ楽器演奏会



4月 系島グリーンコードさんにお越しいただき、ブンネ楽器の演奏会を行いました。

## 歯科検診



4月 門司区歯科医師会の先生方による歯科検診を行っていただきました。この歯科検診は、ご厚意で開園以来毎年行っていただいています。



デイサービス

お花見



4月 園内の満開の桜を楽しみました。

ドライブ



5月 小倉南区に鯉のぼりを見学に行きました。

厨房イベント



5月 厨房職員が目の前で作ってくれた一銭洋食を美味しくいただきました。

新門司保育所交流



5月 保育園児の笑顔に元気をもらいました。

運動会



6月 赤・白がんばれ! 競技や応援にいつも以上にハッスルして運動会を楽しみました。

座

談

会

You were young in those days.

— どうして豊寿園に就職したいと思ったのですか？ —

徳永真弓 : 私は高校生の頃から実習でお世話になっていましたが、その実習がものすごく楽しかったので、ここで働きたいと思いました。

井上翔平 : 僕も徳永さんと一緒に実習でお世話になっていましたが、高校を卒業して就職もしていなかったところで、声をかけてもらって働かせてもらうことになりました(笑)。

岩藤忍 : 私は専門学校の先生から「受けてみたら」と声をかけてもらったのがきっかけです。自宅も近いので興味を持ちました。



— 入職当時と今とを比べると、どこが、どう変わったと思いますか？ —

原田和子 : 前に勤めていた施設では、看護師さんが主体だったので薬や疾患について知ろうとしていませんでしたが、今は自分で調べたり興味を持つようになりました。

岩藤忍 : 年をとりました。肉体的な疲労が抜けにくくなりました(笑)。

徳永真弓 : 私も結婚、出産、育児で心も体も大きく育ちました(笑)。

## TALK ✕ TALK

— 入職当時のエピソードや、入職して良かったと思うところは？ —

井上翔平 : 当時は自慢じゃないですが“遅刻魔”でした(笑)。一度、夕方からの勤務の日に、目が覚めて時計を見たら4時、『やばいまだ寝坊した!』と思って慌てて奥水課長へ電話したら朝の4時だったことがあります。あの時はすいません(笑)。

徳永真弓 : よく先輩達から怒られていました(笑)。みんなから辞める、とかわれていたようですが頑張りました(笑)

岩藤忍 : 良いところはやっぱり、福利厚生とかがしっかりしているところは魅力だと思います。安心して仕事ができます。

原田和子 : 認知症のことや、救急法など、専門的な資格を持った人たちから研修してもらえたりするので、能力を高められる職場だと思います。



— これから豊寿園で成し遂げたいことはありますか？ —

岩藤忍 : ケアマネジャーの資格が取れたらいいな、と思っています。

徳永真弓 : 私もそれにしようかな。(笑)。

原田和子 : 利用者様に笑顔で過ごしていただけるように頑張っていきたいです。

井上翔平 : 豊寿園に来て良かった、とっていただけるように頑張りたいです。あと、僕に会えて良かった、とも思ってもらえたら最高ですね(笑)!

# THE HISTORY OF HOJYUEN

豊寿園の歴史を彩ってきた職員達を、順番にご紹介していくコーナーです。  
9回目は、平成22年に入職した職員4名をご紹介します。

— 同期入職者の紹介 —  
You were young in those days.



原田 和子  
デイサービス生活相談員

前職を経て平成22年に??歳で豊寿園に入職。特養2階介護職を経て、現職。  
×  
デイサービスでは、相談員として業務する傍ら、催し事では演芸担当として様々なレパートリーを披露する芸達者さん。



岩藤 忍  
特養棟1階介護職員

麻生医療福祉&観光カレッジで介護福祉士取得後、平成22年に??歳で豊寿園に入職。以来、特養棟一筋で勤務。趣味はドライブ。毒舌キャラで同僚から慕われる中堅職員。



徳永 真弓  
特養棟2階 介護職員

×  
啓知高等学校を卒業後、平成22年に18歳で豊寿園に入職。平成28年に徳永介護主任と結婚、一児の母として、家庭と仕事を張り切って両立中。彼女が居る場所は散らからない、整理整頓の神様。



井上 翔平  
特養棟1階 介護職員

×  
啓知高等学校を卒業後、平成22年にアルバイトとして豊寿園に入職し介護福祉士を取得。すぐに辞めるかも、という周囲の予想に反し今や立派な中堅職員。ゲームとおしゃれな帽子を愛する。

At that time you were young



平成22年入職当時の夏祭りの写真



平成22年入職当時の夏祭りの写真



入職前年に豊寿園で実習中の写真



入職前年に豊寿園で実習中の写真

Summer 2019

Vol.43

TOPICS

MORE CROSS

HOUJYUEN× FAMILY

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOUJYUEN'S ALBUM

SPECIAL SECTION



# FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJYUEN